



HIROFUMI TANGE

「エコ事業所」の表彰制度創設

丹下博文氏

1950年生、愛知県生まれ。早稲田大学法学部卒業、同大学院修士課程修了。主に倒産と企業更生を研究。米・ロシア・日本大学大学院修士課程修了(MBA)。同大学院経営学部長。UC・A米カリフォルニア大学経営大学院のA.C.A.公共政策大学院副学長。著書「大変革の潮流(朝日選書)」「知(文芸)」「立(印刷)」「環境基礎講座(1)」「企業経営の社会性研究(中)」「中経経済社」など多数。現在、愛知学院大学大学院経営学専攻教授、博士(経営学)。

京都議定書の約束期間が始まったこともあり、今年の年頭挨拶では企業競争力の源泉として「環境経営」を挙げた企業トップが多かったと報じられています。したがって今年は環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している「エコ事業所」が飛躍の年になると予想されます。実際、今年1月に名古屋市ではエコ事業所の第1回表彰制度が実施され、優れた取組や独創的な取組を行っている事業所が発表されました。

今回、受賞の荣誉に輝いた名古屋市内のエコ事業所と、その受賞ポイントは以下のとおりです(掲載は部門ごとに申請順)。

最初に「エコ事業所優秀賞」の「環境管理システム部門(ISO14001認証取得の部)」では①三菱電機(株)名古屋製作所〔高効率機器の導入などで工場を省エネ化〕、②(株)エステム本社〔情報の積極的な発信と国内外での植林活動〕、③名古屋テレビ(株)本社〔メディアを使った環境情報の積極的な発信〕、次に「環境保全活動部門(大企業の部)」では④ユニエ(株)新守山店〔生ごみ堆肥で栽培した製品の販売とバイオプラスチックの積極的採用〕、⑤(株)ジェイプロジェクト〔塗りはしの採用など飲食店での先進的なエコ活動〕、続く「環境保全活動部門(中小企業・団体の部)」では⑥キャリオ技研(株)〔ホームページ、

会社案内などあらゆる媒体でエコ事業所活動を発信〕、⑦大西運輸(株)〔デジタルタコメーターで運転手のエコドライブを推進〕の7事業所です。

さらに「エコ事業所特別賞」では⑧福田三商(株)本社〔市民啓発展示施設で古紙リサイクルをPR〕、⑨前田バルブ工業(株)〔独自のエコポイント制度により社員の環境活動を支援〕、⑩サンメッセ(株)名古屋支店〔FSC認証紙の普及による森林保護活動〕の3事業所です。

なお、第1回名古屋市エコ事業所優秀賞表彰式および事例発表会が2月7日(木)の午後2時から5時まで名古屋市内の地下鉄「伏見駅」近くの伏見ライフプラザ5階「鯉城(こじょう)ホール」(中消防署の上)で開催されます。参加申込みさえすれば、どなたでも無料で参加できます。地球環境に貢献し、しかも環境経営に関する最新の優れた事例や独創的な事例を知る絶好の機会となりますので是非ご参加ください。

**第1回名古屋市エコ事業所
優秀賞表彰式および
事例発表会に関する問合せ先**
名古屋市環境局地球温暖化対策室
電話 (052) 972-2693